

今月のSDGs~2月例会21世紀彰考館のSDGsゴールとターゲット~



16 平和と公正をすべての人に



- 16. 平和と公正をすべての人に
~持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、全ての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する~
- 16.6 あらゆるレベルにおいて、有効で説明責任のある透明性の高い公共機関を発展させる。

2019年度日本青年会議所の京都会議の総会では「SDGs推進宣言」が採択され、本年1年間を通じて日本で最もSDGsを推進する団体となることを目指した運動がスタートしました。水戸青年会議所においても毎回の例会の中で、SDGsで示される17のゴールと169のターゲットを当てはめて事業を構築して参ります。

京都会議にて



先日開催されました2月例会 二十一世紀彰考館には、多くのメンバーにご参加いただきありがとうございました。

彰往考来しようといううららかな徳川光圀公の言葉であり、過去をあきらかにしたうえで、未来について考えるという意味があります。本例会を通じて60周年という過去があきらかにになりました。今後は未来について考える時です。

愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶという有名な言葉もありますが、水戸青年会議所は三、四半世紀あまり歴史を重んじ、歴史に学び、脈々と歴史を継承してきた団体であると思えます。

私自身、今回学んだことを生かして、未来について考える契機となりました。

また、普段は話せない歴代理事長である、白田先輩・宮田先輩と例会を通じ沢山お話しさせていただきました。70周年時、現役メンバーの4割が卒業しています。残るメンバーと先輩の皆様とが親交を深めることが必要だと感じました。

今後とも当委員会をよろしく願います。

70周年準備委員会
副委員長 関 康彦 君
他 委員一同

白田先輩、宮田先輩には懇親会にもご参加頂き、大変貴重なお話を伺うことができました。本例会での学びを生かし、3年後の70周年に向け、心ひとつに進んで参ります。

vol. 02

公益社団法人 水戸青年会議所

SAKIGAKE

~例会のご報告とご案内~



例会報告



伊勢修養団「みがく講習会」に参加して
公益社団法人 日本青年会議所 関東地区協議会
顧問 益子 直之 君

2月9日から二日間、出向させて頂いている関東地区協議会の恒例行事である三重県伊勢・公益財団法人修養団、伊勢青少年センターでの「みがく講習会」に参加してまいりました。

関東地区協議会の役員をはじめ、スタッフのメンバー、水戸青年会議所からは共に出向で汗を流す事務局出向の関君と共に参加をしてまいりました。

通常は3泊4日の講習会なのですが、2月の厳寒期のみ、1泊2日の特別講習会が設けられており、2月中に3回あります。定員100名なのですが、厳寒期ということもありながら、JCMメンバーを含め一般参加者と共に80名程度の参加でした。

厳寒期の参加者数の少ないのは、スケジュールのメインが「禊ぎ」だからです。伊勢神宮の参道入り口に架けられている、日本百名橋のひとつ「宇治橋」の下を流れているのが五十鈴川ですが、禊ぎは、この川の中に入る水行により行われます。2/9、5:10という、24節気で立春を過ぎたとは言え、実際にはまだまだ晩冬の装いの時期の禊ぎは、想像しただけでも寒気がしてくるものです。

活動内容は省略しますが、童心行や反省行も、とてもすばらしいカリキュラムのひとつでした。文字通り童心に返り、そして己の人生を反省する時間をいただきました。ろうそくを灯しながらの反省行では、人知れず涙が流れて止まりませんでした。(下段に続く)

次回例会案内



（上段続き）
禊ぎは前述したように、伊勢神宮境内を流れる五十鈴川に入る水行ですが、夜9時過ぎの伊勢は、気温0度近くまで下がっていました。しかしそういう邪念が消えうせるほどの寒さの中、頭には、「愛・汗」と書かれた鉢巻を締め、三列になって五十鈴川へ向かいました。

5分ほどで川岸に着き脱衣！5分ほどを練る運動動作をなし、そして講師の合図の下、まさに身を切るほどの冷たさでした。川につかること約3分、講師の号令と共に立ち上がり、そして岸に上がりました。

その後、整理運動を行い、禪を脱ぎ、身体を拭いて、下着とトレーニングウェアを着ました。無言のままに宿舎に戻り禊ぎの勝利を祝って、所長がお神酒を振舞ってくださいました。

翌日も朝5時半の太鼓の音色??と共に起床し、館内清掃、朝食、講和と体験をし、無事に1泊2日の講習会が終了いたしました。

最終解散式の君が代では、この日本に生まれた事や日本人の精神性、他人を思いやる心を改めて心に念じ涙の熱唱となりました。

現代社会に生きる自分のマンネリ化を打破し、日々の生活がどれほど素晴らしいものか。他人との関係でさえ、それが奇跡の出会いである事をあらため、日々感謝のこころを忘れぬよう生きていく。

幸福の種をまくのを忘れて幸福の花をつもうとする人がいる。それでは幸福の花は咲くことはない。幸福の花をつむより種をまくその努力を忘れてはならない。

総務広報委員会 副委員長 植竹 文人 君
他 委員一同

今月の拡大活動



先輩シニアの皆様にもご協力を依頼させて頂きました。
8月まで残り目標23名!
引き続き、拡大活動に邁進して参りましょう!

委員会対抗で会社訪問ラリーを実施し、委員会内の絆を深めて参りましょう。

FUNを創ろう!
スタンプGET!
スタンプ創ろう!

3月例会 第13回総会
日時：3月14日 木曜日
19:00 受付開始
19:30 開会
20:30 閉会

公益社団法人水戸青年会議所は日本で50番目の青年会議所として、六十六年間の歴史を紡いできました。これからも組織が確実に引き継がれるよう心掛けなければなりません。公益社団法人格を取得してから6年が経過し、公の組織として知識の取得や運営は着実に身について参りましたが、メンバー一人一人が公に対する意識をいっそう高め、組織の基本ルールを再認識し、決して妥協する事のない誠実な組織運営が求められております。

今までも素晴らしい総会が執り行われてきましたが、この先も歴史が確実に引き継がれるために、総会の開催を通じて、メンバーの意思統一を図ってまいります。

三月十四日(木)十九時半より、勝蔵会館にて第十三回総会を開催致します。議案は十八年度補正予算と十八年度事業報告並びに収支決算と十九年度当初収支予算などの予定です。総会は水戸青年会議所の最高意思決定機関であり、メンバーの皆様一人一人が議決権を持ちますので、必ず行使してください。

